【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成16年7月22日(2004.7.22)

【公開番号】特開2000-157490(P2000-157490A)
【公開日】平成12年6月13日(2000.6.13)
【出願番号】特願平10-333462
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｂ　 3/028
　Ｇ０６Ｆ　19/00
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｂ　 3/02　　Ａ
　Ｇ０６Ｆ　15/42　　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成15年6月30日(2003.6.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検眼に屈折力を付加するための矯正光学系を検眼窓に切換え配置する自覚検査ユニットにより被検眼の屈折力を検査する検眼装置において、前記自覚検査ユニットによる検眼のための検眼用画面を表示するディスプレイと、被検者に関する個人情報を記憶する記憶手段と、該記憶手段に記憶された個人情報を前記検眼用画面と同一画面上に表示する表示制御手段と、を備えることを特徴とする検眼装置。
【請求項２】
請求項１の検眼装置において、前記検眼用画面に表示する個人情報は被検者氏名、被検者年齢、来店目的、矯正屈折力に対する被検者の主訴、矯正レンズ作成に当たっての希望事項の少なくとも１つを含むことを特徴とする検眼装置。
【請求項３】
請求項１の検眼装置において、さらに前記検眼用画面に表示される個人情報の種類を、前記記憶手段に記憶された複数種類の個人情報の中から選択して変更する種類変更手段を備えることを特徴とする検眼装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
（２）　（１）の検眼装置において、前記検眼用画面に表示する個人情報は被検者氏名、被検者年齢、来店目的、矯正屈折力に対する被検者の主訴、矯正レンズ作成に当たっての希望事項の少なくとも１つを含むことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００９】
（３）　（１）の検眼装置において、さらに前記検眼用画面に表示される個人情報の種類を、前記記憶手段に記憶された複数種類の個人情報の中から選択して変更する種類変更手段を備えることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】